

「キューバ共和国 再生可能エネルギー導入促進業務」概要

1. 業務期間・対象地域

- ・ 2025年1月～2027年1月（予定）
- ・ キューバ全土

2. 契約先・実施体制

契約先：独立行政法人国際協力機構（JICA）

実施体制：西日本技術開発株式会社・東電設計株式会社・八千代エンジニアリング株式会社 JV

担当業務：西日本技術開発株式会社 既設発電設備評価、マスタープラン評価
東電設計株式会社 系統運用技術移転、マイクログリッド運用技術移転
八千代エンジニアリング株式会社 再エネ導入促進、電力開発計画

3. プロジェクトの目的

キューバ共和国において、電力系統の運用改善を含む再生可能エネルギー導入の促進を目的として実施される。

4. 主な活動内容

- ・ 太陽光発電と蓄電池が高い普及率で導入され、有事の際に独立して機能する系統について、安全性と信頼性を伴った状態で運用するために必要な要素を提示する。
- ・ 電力安定供給を実現するため、自然災害を含む系統事故に対する強靱な系統管理の概念を設計する。
- ・ 太陽光発電と蓄電池を含む再生可能エネルギーの系統接続のためのグリッドコードの概念を設計する。
- ・ 電力需給調整と系統運用に関するキューバ電力公社（UNE）の理解を深める。
- ・ 過去に実施したマスタープランで分析・確認した再生可能エネルギー開発計画をモニタリングしつつ、開発の現状を踏まえた具体的な活動の提案・助言を行う。
- ・ 上記活動に関して本邦招へいを通じて UNE 等関係者の能力の向上を図る。

5. その他



出典：外務省 H.P.



現地合同委員会